

環境に優しいトイレをご利用ください

～支笏洞爺国立公園登別園地公衆トイレ完成披露式～

4月4日(金)、登別温泉地獄谷(登別パークサービスセンター横)で『支笏洞爺国立公園登別園地公衆トイレ完成披露式』(環境省・市共催)が行われました。

この施設は、環境省が初めて登別市で行った事業で、地獄谷周辺の地熱を館内暖房に利用して二酸化炭素の排出を抑制したほか、雨水をトイレの洗浄水に利用して節水を図るなど、環境に配慮されているのが特徴です。

また、女子トイレに乳幼児を座らせるためのベビーキープと幼児用便座を、多目的トイレにはベビーベッドを設置するなど、小さいお子さんも安心して利用できます。

外観は、隣接する登別パークサービスセンターと同じ昭和初期の登別温泉バス停を参考にし、周辺の景観との調和が図られています。

披露式では、上野市長から「洞爺湖サミット開催、開湯150年の節目にすばらしい施設が完成しました。多くの関係者の配慮に感謝します」とあいさつしていました。

管理は、財団法人自然公園財団が行うこととなっています。



▲地熱を利用したヒートポンプシステムの説明モニター

一足早くナイスショット

～岡志別の森運動公園パークゴルフ場オープン～



4月13日(日)、岡志別の森運動公園のパークゴルフ場がオープンし、144の方がパークゴルフを楽しんでいました。

今年は、5月1日にオープンを予定していましたが、雪が少なく利用可能になったことから、この日のオープンとなりました。

利用者からは、「楽しみに待っていました。芝の状態は良好です。今日は一日いっぱい楽しめます」などと楽しそうに話してくれました。

今年度は、5月は7時から18時まで、6月～9月は7時から19時まで、10月は7時から17時まで利用可能です。

車に気を付けて元気に登校を

～新入学児童に対する交通安全啓発運動～

4月8日(火)、幌別小学校で『新入学児童に対する交通安全啓発運動』が行われました。

この運動は、一人で歩くことに慣れていない新1年生が交通事故に遭わないように、交通安全の啓発をすることを目的に行われているもので、各小学校持ち回りで毎年開催されています。

今年の会場となった幌別小学校の玄関前では、市や室蘭警察署、登別市交通安全協会などから約50人が啓発運動に参加しました。保護者らに手を引かれた新1年生は、参加者から「入学おめでとう。車に気を付けてね」と呼び掛けられ、元気いっぱい「ハイ」。学用品や交通安全啓発パンフレットが入った封筒を手渡され、「ありがとう」とにっこり答えていました。

今年度、市内各小学校の新1年生は合わせて441人(昨年度は407人)でした。

